

学修者本位の大学教育へ

学修成果を可視化できる教育と学修支援

「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（2018年11月）では、「学修者本位の教育の実現」が掲げられ、大学は学位プログラムを通じて「何を学び、身につけることができるのか」明確に示し、学生が学びの成果を実感できることが求められています。

「学修成果の可視化」は、学生自身が結果を基に振り返り、次の目標設定や身に着けるべき能力を意識した主体的学習につながります。また大学は教育内容、教育システムの改善から教育の質の向上に取り組むことで「教育の質保証」につながります。

本講座では、授業開発・高等教育政策に造詣の深い成田秀夫氏を講師にお迎えし、「学修成果の可視化」をキーワードに、今後の大学教育についてお話しいたします。

2024年2月9日 金 13時～15時

（受付：12時30分～）

講師

成田 秀夫 氏

（桐蔭横浜大学 学長特別補佐・教育研究開発機構 特任教授）

会場

目白大学 新宿キャンパス 10号館9階 大講義室

東京都新宿区中落合4-31-1

参加費

無料

参加申込

以下のURL または QR コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力して送信してください。

https://bit.ly/mejiro_ex



申込締切

2024年2月3日（土）まで

講師ご経歴

桐蔭横浜大学 学長特別補佐・教育研究開発機構 特任教授 成田 秀夫 氏

河合塾教育研究開発本部・開発研究職、大正大学教授・総合学修支援機構 DAC 副機構長、山梨学院大学教授・学習・教育開発センター等を歴任し、現職。

2000年より大学の初年次教育の授業開発に携わり、現在、初年次教育学会の理事を務める。

経済産業省での「社会人基礎力」の立ち上げ、大学生のジェネリックスキルを育成・評価する PROG の開発に携わるなど、高校・大学・社会をつなぐ教育の研究開発に尽力。

主な著書に「大学生の日本語リテラシーをいかに高めるか」（ひつじ書房，2015）、「アクティブ・ラーニングをどう始めるか」（東信堂，2016）等多数。

アクセス



◆西武新宿線・都営地下鉄大江戸線

「中井駅」より徒歩 8 分

※西武新宿線「中井駅」へは「各駅停車」にご乗車ください。

◆都営地下鉄大江戸線

「落合南長崎駅」より徒歩 10 分

※車椅子等でご来場の場合は、道の起伏が少ない「落合南長崎駅」をご利用ください。

◆東京メトロ東西線

「落合駅」より徒歩 12 分

※構内に駐車場はございませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

注意事項

本講座は、記録のため写真撮影・録音等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、本講座の映像・音声等を許可なく写真・動画・音声で記録すること、またそれらを第三者に共有・公開することは禁止させていただきます。

お問い合わせ先

目白大学高等教育研究所

〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1
kyouiku@mejiro.ac.jp / 03-5996-3187